

国際ホテル・ブライダル専門学校

学校自己評価報告書
(平成25年度)

目次（評価項目一覧）

1. 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか

2. 学校運営

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

3. 教育活動

- 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか
- 教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
- 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか
- 関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか
- 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか
- 職員の能力開発のための研修などが行われているか

4. 学修成果

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善にかつようされているか

5. 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

6. 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 防災に対する体制は整備されているか

7. 学生の受入れ募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学納金は妥当なものとなっているか

8. 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

9. 法令等の遵守

- 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

10. 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

1. 教育理念・目標

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4
社会のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが生徒・学生・保護者に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	3

(2) 現状

- 当校では以下の教育理念と目的、教育の方針、人間力育成のための教育指針を掲げ、人材育成を行っている。また、これらの教育理念、教育の方針、各学科において学科教育目標が定められている。

【教育理念】

ホテル・ブライダルに関する専門教育を行い、高度な専門技術・技能を修得させ、ホスピタリティ精神溢れる有為な人材の育成・輩出を通し、地域社会、国家、国際社会の発展に寄与・貢献する。

【目的】

- ・ホスピタリティ精神を身につけ、行動できる人材を育成する。
- ・海外、国内のホテル・ブライダル業界、葬祭業界で活躍する人材を育成する。

【教育の方針】

- ・ホスピタリティの概念を身につける。
- ・国際人としての感覚・社会常識、マナープロトコルを広く深く学ぶ。
- ・「PLAN」、「DO」、「SEE」能力とマネジメント能力を身につける。
- ・業界で即戦力となるための専門知識・技術を習得する。

【人間力育成のための教育指針】

実践行動学：目標を明確にモチベーションを向上維持し、前向きに行動する。

礼儀・礼節：状況に応じた言葉遣いや行動を通して、感謝の心を持つ。

清潔：自らの身だしなみを整え、環境を綺麗に保ち、自分の心を磨く。

地域貢献：地域行事への参加を通し、地域に関心や愛着を持つ。

国際理解：海外研修や留学生との交流を通じて異文化理解と受容の精神を持つ。

奉仕：ボランティア活動を通して、他者を思いやる謙虚な気持ち、公共心を持つ。

集団行動：他者との協調、集団の中で自らの果たす役割、リーダーシップを学ぶ。

- 当校の教育の特色として以下の点が挙げられる
 - ・ 校舎がそのまま宿泊施設・ブライダル施設・研修施設という利点を活かしたカリキュラ

ムを構成している。

- 職業力を高めるための、企業等と連携したインターンシップ等の職業実践型実習が豊富に取り入れられている。
- 国家資格、検定資格指導については、合格実績を支える指導の仕組みを備え、学生個々へのきめ細かい対応を行っている。
- 豊かな人間性を養うために地域行事への参加や、ボランティア活動などを実施している。
- 目的や教育方針、人間性育成のための教育指針は学生には年度当初に配布する「学生の手引き」に記載し、新入生・在學生に周知している。また、保護者には保護者会にて伝えている。

(3) 課題と改善策

関連の業界関係者へは未だ周知不足の点があるので、情報発信する機会の増を図る。

2. 学校運営

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

(2) 現状

- 運営方針は年度初めにビジョンシートに明記され、職員会時に全教職員に周知される。
- 学校の運営については、学則および諸規定によって明確化されており、有効に機能している。また、教職員による運営組織については組織図、校務分掌を毎年作成することで明確化している。
- 教務・財務等の組織整備など、法人全体の重要事項については、理事会・評議委員会が組織され、定期的な運営状況の報告を行っており、不定期に発生する法人全体に関わる重要事項についても、理事会・評議委員会を開催して意志決定がなされている。
- 校内においては運営部会、教務会議、職員会議を定期的に行い、必要に応じて重要事項の協議・決定を図っており、組織としての意志決定を効率的に行っている。
- 人事、給与については法人の就業規則並びに諸規定によって規定されている。
- 教育活動等については当校 Web サイト等により情報公開に努めている。
- 情報システムとしては、学籍管理システム、財務会計システム、予算検討システム、学校業務支援システム（学生納付金の管理等）等により効率的に運用されている。

(3) 課題と改善策

教育活動の外部向け情報発信をホームページや広報物により更に増やしていく。

3. 教育活動

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	3
教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	3
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修などが行われているか	3

(2) 現状

- 教育課程の編成・実施は教育理念や目的、教育方針、人間力育成のための教育指針を踏まえた上で、教務部長を中心に策定される。明確に定められた学科教育目標に沿って体系的に編成されている。
- 実践的な職業教育として、企業と連携したインターンシップ等の職業実践型授業と校内の実習施設での授業を全ての学科で行っている。
- 授業評価については前期・後期の各期に1回、年間2回の学生授業評価アンケートを行っている。結果は担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められており、「学生の手引き」に記載され学生に周知されている。
- 資格取得についてはカリキュラムの課程認定を進めることで体系的に位置づけ取得しやすい体制を整備している。また、対策授業を取り入れることで学生の資格取得を支援している。
- 教員の資質向上については、研修規定に基づき法人にて行われる各種研修の他、専門性に応じた外部研修や各種協会への参加等を奨励している。また、職員の能力開発については

法人全体でマネジメントや広報等、各種研修に取り組んでいる。

(3) 課題と改善策

特になし

4. 学修成果

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

(2) 現状

- 就職相談室を配置し、法人の関連部署、企業、ハローワーク、卒業生等との連携を図り、求人獲得、就職支援を行っている。
- キャリア教育として、業界関係者、業界で活躍する卒業生等による講演を毎年開催している。また、就職に向けた動機付けや業界研究等を行う宿泊型の研修も毎年行っている。
- 健康上の理由や精神的な理由による欠席等、学生の状況については、毎週の教務会で各担任からの報告により把握、共有される。また、学生の生活上の諸問題等について、必要に応じて個別面談等を実施し、スクールカウンセラー等の活用等退学率の低減に努めている。
- 卒業生については校友会が組織され、校友会総連合会との連携により卒業生の動向を把握している。
- 卒業生から在校生に向けて就職活動・学習に関する動機付けの座談会等の機会をつくっている。

(3) 課題と改善策

- 実習先企業に就職している卒業生の動向把握は比較的容易であるが、県外への就職をした卒業生の動向把握が難しい。今後はホームページによる情報発信のほかに SNS 等の活用により、より卒業生の情報・動向の把握に努める。また学校関係者評価への校友会からの参画等、校友会との連携の強化に努める。

5. 学生支援

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

(2) 現状

- 進路・就職相談について、主に就職相談室が窓口となり、本人の希望や業界とのマッチング等に配慮しつつクラス単位、個別単位に指導を行っている。また、学生の生活上の諸問題等について、必要に応じて担任により個別面談等を実施している。
- 財団法人日本産業カウンセラー協会による学校訪問対面カウンセリング制度、新潟リハビリテーション病院での院内対面カウンセリング制度を整備し、学生相談に対する体制を整備している。
- 経済的な支援体制については、特待生制度、法人独自の奨学金制度、納付金の延分納制度等を整備している。また、事務局に担当窓口を設け、教育ローンや奨学金活用の相談を受け付けている。
- 保護者会を1年次は3回、2年次は1回開催している。クラス担任による個別面談を実施し、保護者との連携を図っている。
- 卒業生に対しては校友会を通じて学校情報を提供している。
- 社会人の入学希望者に対応するために、社会人特待入試制度を導入し、受け入れ態勢を整えるとともに、各種奨学金制度を整備している。
- 高校生、中学生の職業選択にかかる研究としての当校への学習訪問活動を積極的に受け入れている。仕事の内容や求められる人材像について説明している。

(3) 課題と改善策

特になし。

6. 教育環境

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	4

(2) 現状

- 建物内の実習教室は授業や検定対策において積極的に運用されている。建物管理においては、学生総合プラザ STEP 管理事業部と連携をはかりながら管理している。
- 法人が所有する研修施設において、各種オリエンテーション、就職研修を宿泊研修として実施している。
- 当校では教育目標達成のために、インターンシップには特に力をいれている。また、海外研修については受け入れ先の海外ホテルと連携を図り、充実した研修プログラムを実施している。
- 春・秋定期に学校全体での防災訓練を実施している。震災想定・火災想定それぞれに校舎から外部集合場所への避難完了時間を測定し経年比較をしている。

(3) 課題と改善策

特になし。

7. 学生の受入れ募集

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学生募集活動は適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

(2) 現状

- 学生募集については、パンフレット、学生募集要項を毎年作成し、入学希望者に配布している。また、ほぼ月1回の頻度でオープンキャンパスを開催し、オープンキャンパスでは授業体験を実施する等、当校に対する理解を深めてもらっている。その他、県内県外の高校訪問等による学生募集活動も実施している。
- 就職実績コンクール実績について数値データを示し、理解を図れるよう説明している。
- 卒業生の進路状況や各種資格検定取得状況等の教育成果は、パンフレットや Web サイトへの掲載によって公開されている。

(3) 課題と改善策

特になし。

8. 財務

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

(2) 現状

- 法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。

(3) 課題と改善策

現状で直ちに改善しなければならない大きな課題はないが、18歳人口の減少や高校新卒者の就職率など外部要因の変動による収支への影響に耐え得る財務基盤の構築を行っていきたい。

特記事項

学校法人として収支計画を立てているため、情報提供も法人単位としている。

9. 法令等の遵守

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
自己評価結果を公開しているか	3

(2) 現状

- 法令、設置基準の遵守について、専門学校担当課との対応は法人本部で窓口となり一括して行っている。また、所轄官庁等からの通知についても法人本部をつうじて学校に通知され、教職員に周知されている。
- 個人情報の保護に関する規則は明文化されており、学生の手引きに記載され学生へも周知されている。
- 教職員へのアンケート等も踏まえた自己評価を実施し、問題点については順次改善に取り組んでいる。平成 25 年度からは学校関係者評価委員会も設置し、自己評価の妥当性、透明性の向上を図っている。

(3) 課題と改善策

- 自己評価については、今回の学校関係者評価委員会の評価を経て、当校の Web サイトに掲載して公開していく。

10. 社会貢献・地域貢献

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	—

(2) 現状

- 地域おこしのイベント行事への参加を行っている。
- 近隣地域への清掃活動や募金活動、ボランティア活動を学校行事として実施している。

(3) 課題と改善策

今年度、公開講座や教育給付の受託等の実績はない。現状、実施可能な教室等の物理的な規制があり実施することが厳しい。

国際ホテル・ブライダル専門学校

学校関係者評価委員会における指摘事項等

実施日時 平成26年5月7日（水）18:00～19:00
実施場所 国際ホテル・ブライダル専門学校 3F会議室
出席者 学生総合プラザSTEP管理事業部 部長 鈴木 龍一 様
国際ホテル・ブライダル専門学校校友会 会長 渡邊 由理江 様
卒業生保護者 田辺 博之 様
学校長 柿本進、副校長 星野徹

合計5名が出席し学校関係者評価委員会を実施した。

指摘事項等は次のとおり。

- 学生の手引きには教育方針や学科の特徴などが記載されており、学生や保護者に学生の手引きを使って学校の方針等を伝えていることは良いこと。ぜひ関連の企業へも周知いただくとありがたい。
- 同様に教育活動の情報発信においても、企業や協会といった外部に伝えていただくと、学校についての理解が深まる。
- インターンシップを通して、学校と企業との関係を強化していただきたい。現場で働いているスタッフと接することも大切であり、その機会を多くして欲しい。
- 資格検定対策について、多くの学生が取得することができる対策授業を取り入れてほしい。また、対策授業自体が知識習得になることも植えつけてほしい。
- 教材について、毎年振り返りを行い有為な教材を選定してほしい。古い情報の掲載ではなく、トレンドを配置したものを提供してほしい。

- ボランティア活動を積極的に活用して欲しい。ボランティアを通して、地域貢献のための人材養成に協力していきたい。
- 経済的に厳しい家庭が増えてきている。学校独自の返還免除奨学金制度や学費減免制度など検討して欲しい。
- 教員は学生指導や授業準備、授業の対応と、日々多忙であるとは思いますが、教員のスキルアップのためにも研修やセミナー等へ積極的に参加いただきたい。
- 人のコミュニケーションができる人材を育てて欲しい。それが中退防止につながると思う。
- 校友会を有効的に活用するとネットワークを広げられる。学校としてはフォローアップしてほしい。
- 少子化が進み、進化しない専門学校は淘汰される時代になった。高校生が進路先として選んでくれる、良い学校づくりのために私たちも協力していきたい。
- 自己評価については学校運営・教育活動、修学成果、学生支援、教育環境等、良好な運営状況と判断できる。

以上